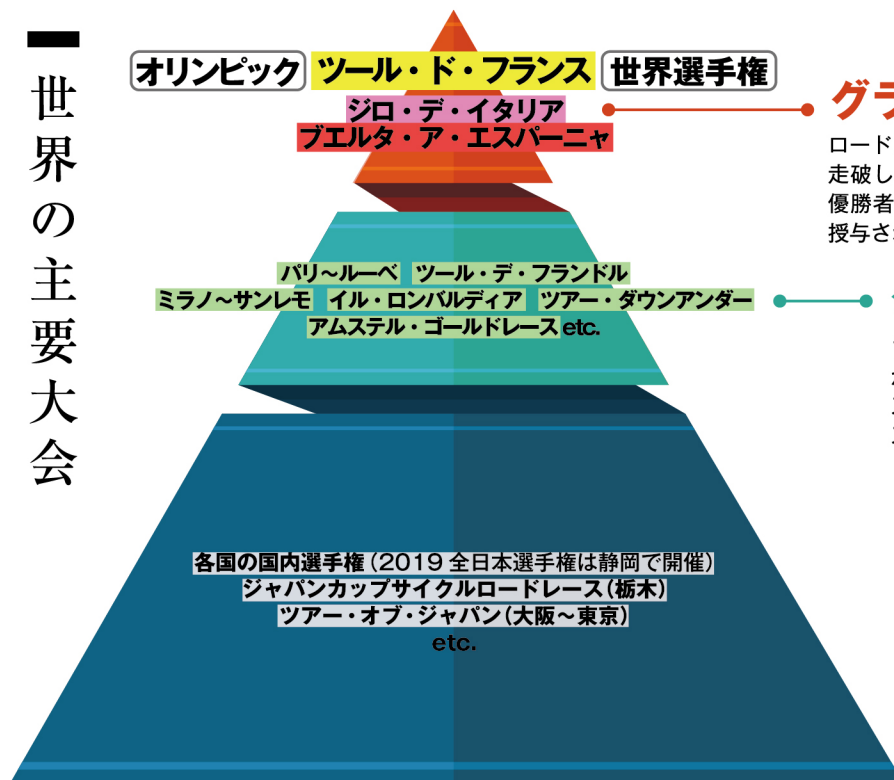


世界の主要大会



オリンピック ツール・ド・フランス 世界選手権

ジロ・デ・イタリア
ブエルタ・ア・エスパーニャ

パリ〜ルーベ ツール・デ・フランドル
ミラノ〜サンレモ イル・ロンバルディア ツアー・ダウンアンダー
アムステル・ゴールドレース etc.

各国の国内選手権 (2019 全日本選手権は静岡で開催)
ジャパンカップサイクルロードレース (栃木)
ツアー・オブ・ジャパン (大阪〜東京)
etc.

グランツール

ロードレース界の最高峰。3週間で約3,000km 以上もの距離を走破し、全ステージの総走行時間が最も短い選手が総合優勝。優勝者には王者の証として各大会を象徴する色のジャージが授与される。

クラシックレース

1日で勝敗が決まり、グランツールとはまた違う緊張感がある。大会毎に開催場所の地形の特徴を活かしたコースが設定されており、荒れた砂利道を走るなど激しいレースが多い。

世界選手権

世界チャンピオンを決めるレース。250km 以上の距離を1日で争う。優勝者のみが1年間着用を許される虹色カラーの「アルカンシエル」ジャージは世界チャンピオンの証。

CYCLE ROAD RACE

自転車競技 超入門
ロードレース



グランツール、クラシック、世界選手権
世界の主要大会

この選手は覚えておこう

有名選手紹介

裾野市のコースでは誰が活躍する？



オリンピック金メダルは特別
ロードレース界におけるオリンピックの位置付け

4年に1度のオリンピックで勝つことは、アスリートにとってスポーツ界に名を残せる大きな意味を持つ。グランツール、世界選手権、オリンピックで優勝することが選手のキャリアでの目標と謳う選手も多い。今年は主要大会同士の開催時期が近いことから、全自転車選手の夢でもあるツール・ド・フランスを欠場してまでオリンピックに出場する選手も。

2012 London

ロンドン五輪、38歳のベテランが金

毎大会波乱の展開となるロードレース。2012年のロンドン五輪ロードレースを制したアレクサンドル・ヴィノクロフ（カザフスタン）は、一度引退を表明したが再び競技に復帰。当時38歳のヴィノクロフはロンドンで金メダルを獲得した後に引退し、有終の美を飾った。

2016 Rio de Janeiro

リオ五輪、エース同士の争い

今回の東京五輪のような上り坂が続くコースとは違い、海岸線沿いの短く急な坂のアップダウンが続いたスピード感満載の237kmで争われた。東京五輪でも有力視されている内の1人、グレッグ・ファンアールマート（ベルギー）が、ヤコブ・フルサン（デンマーク）とラファル・マイカ（ポーランド）によるエース格同士の競り合いを制した。

2020 TOKYO

東京五輪は、あなたの目で見届けよう！



裾野市スポーツツーリズム推進協議会
<https://www.susonost.com>



発行元



裾野市産業部産業振興課オリンピック・パラリンピック推進室
住所：〒410-1192 静岡県裾野市佐野 1059 番地 電話：055-995-1825
http://www.city.susono.shizuoka.jp/kanko/tokyo_olympic_paralympic/index.html



裾野市スポーツツーリズム推進協議会
裾野市



裾野市内のコースはどんな選手が活躍する？

東京2020オリンピック自転車競技ロードレース(男子)のコースは、総獲得標高(スタートからゴールまで上った高さ)が4,865mと非常に高く、世界中のレースと比較しても難易度の高いコースとなっている。中でも裾野市内の南富士エバーグリーンラインは、今大会で最も高い標高1,451mの富士山麓へと上る約10kmの過酷な上り坂だ。レース後半に差し掛かる箇所で開催されるこの上り坂ではジュリアン・アラフィリップ選手(フランス)やヴィンチェンツォ・ニバリ選手(イタリア)、アレハンドロ・バルベルデ選手(スペイン)など上り坂に強い各国エース格の選手達の活躍が予想される。しかし、ロードレースは予想外の展開が起こるのも醍醐味だ。有力視されていない伏兵が大金星を挙げる可能性も否めない。

この人たちは覚えておこう！

ロードレース有名選手



Julian Alaphilippe

フランスの絶対的エース

ジュリアン・アラフィリップ

フランス
ドゥケーニク・クイックステップ所属
脚質：パンチャー

2019年ツール・ド・フランスで大活躍し、世界中の自転車ファンを驚愕させた。上り坂を得意とし、積極的にレースを動かす走りに注目。東京五輪のようなコースでは優勝争いへ絡んでくるだろう。
主な成績：ツール・ド・フランス区間通算4勝、フレッシュ・ワロンヌ2連覇(2018, 2019)



Tom Dumoulin

オールラウンドな強さ

トム・デュムラン

オランダ
チーム・ユンボ・ヴィスマ所属
脚質：オールラウンダー

2017年ジロ・デ・イタリア覇者。2019年夏に大怪我を負い、半年以上レースから離れていたが2020年に復活。ニバリと同様に長い上り坂に強いだけでなく、平坦での走力にも長けている事から、裾野市内のようなコースで特に強さを見せるだろう。
主な成績：ジロ・デ・イタリア総合優勝(2017)、個人タイムトライアル世界選手権優勝(2017)



Alejandro Valverde

上り坂にめっぽう強い

アレハンドロ・バルベルデ

スペイン
モビスター・チーム所属
脚質：パンチャー

今年で40歳、ロードレース界きつてのベテラン選手。世界選手権で6度もメダルを獲得、2018年に自身初の世界王者へ。急な上り坂にめっぽう強く、レース後半となる裾野市内に入ってからゴールまでの動きに目が離せない。
主な成績：ロードレース世界選手権優勝(2018)、プエルタ・ア・エスパーニャ区間通算12勝



Vincenzo Nibali

リオ五輪では涙のリタイア

ヴィンチェンツォ・ニバリ

イタリア
トレック・セガフレード所属
脚質：クライマー

2013、16年にジロ・デ・イタリアを優勝したイタリアのスター選手。南富士エバーグリーンラインのような長い上り坂を得意とする。前大会のリオ五輪ではゴール直前で転倒し、涙のリタイア。東京五輪でリベンジを狙う。
主な成績：ジロ・デ・イタリア総合優勝(2013, 2016)、ツール・ド・フランス総合優勝(2014)

リオ五輪金メダリスト

グレッグ・ファンアールマート

ベルギー
CCCチーム所属
脚質：パンチャー

上り坂に特別強い訳ではないが、粘り強さと瞬発力ある走りゴール前の競り合いを得意とする。富士山麓までの長い上り坂を耐えてしまえば、ライバル国にとって大きな脅威となるだろう。
主な成績：リオ五輪ロードレース優勝(2016)、パリ〜ルーベ優勝(2017)、ツール・ド・フランス区間通算2勝



Greg Van Avermaet

東京2020オリンピックで日本代表に選ばれるのは2名

各国の出場枠は、2019年10月末時点の世界ランキングによって決められた。海外強豪国の出場枠は5名に対して日本からは2名のみ出場できる。JCF(日本自転車競技連盟)が定めた国際大会で成績を残し、2020年5月末時点での国内ランキング上位2名が日本代表選手として選出される。



新城幸也

あらしろ ゆきや
バーレーン・マクラーレン所属
脚質：パンチャー

現在も第一線で活躍する数少ない日本人選手の一人。ツール・ド・フランス完走など、数々の偉業を達成。リオ五輪ロードレース日本代表。
主な成績：3大グランツール完走12回

石上優大

いしがみ まさひろ
NIPPO・デルコ・ワンプロヴァンス所属
脚質：クライマー

日本代表候補最年少の22歳。2020年からフランス籍のプロチームへ所属し、世界を転戦。

増田成幸

ますだ なりゆき
宇都宮ブリッツェン所属
脚質：オールラウンダー

怪我や病気を乗り越え、海外でも数々の好成績を納めてきた日本トップの実力を誇る36歳のベテラン。